

平成26年度
埼玉県農地・水・環境保全向上対策地域協議会
優良事例表彰について

- | | | |
|---|--------------------------------|-------|
| 1 | グリーンねっと星の川 | (鴻巣市) |
| 2 | 古谷本郷地区農地・水・環境美化サークル | (川越市) |
| 3 | 嵐山南部地域資源・環境保全向上活動委員会 | (嵐山町) |
| 4 | 大湊区下環境を守る会 | (皆野町) |
| 5 | 宮戸農村環境保全協議会 | (本庄市) |
| 6 | 熊谷市御正堰地域農地・水・環境保全管理協定
運営委員会 | (熊谷市) |
| 7 | 下崎環境保全協議会 | (加須市) |
| 8 | いきいきふなと | (越谷市) |

水ゆたか 緑あふれ 稲穂輝く新井の里

(組織名) グリーンねっと星の川 (市町村) 鴻巣市



1 地域の資源

水田	畑地	用水路	農道
47.3ha	16.5ha	19.7Km	4.3Km

2 活動組織の構成員

○農業者 31人

○非農業者 151人

○主な構成団体

共和本村農家組合

上手農家組合

田島農家組合

新井自治会

新井土木

第一もくせい会

共和小学校稲作教室

3 地域の様子と取組内容

私たちの地域は、鴻巣市の北東に位置し、JR鴻巣駅から約5km、北側を流れる見沼代用水（星川）と南側を流れる野通川に挟まれた利水に恵まれた水稲栽培を中心とする農村地帯です。

毎年4月第一日曜日、地域総出の開水路浚いを皮切りに、年2回の農道、水路のゴミ拾い、農業者による藻狩り、草刈り、泥上げを実施。さらに、水路施設点検を定期的に行っています。また、休耕地を利用しレンゲ草、菜の花、ヘアリーベッチ畑を創出、春はな祭りを開催し事業の啓発と地域住民との交流を図っています。小学校稲作教室では、田植えから収穫まで一年を通し、事業を実施しています。

向上活動では、これまで、手が付けられず排水機能が著しく低下した素掘り排水路の堀直しに着手、現在13本中8本の堀直しが終わり排水機能の向上に努めています。

4 主な活動内容（平成25年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検 水門の点検（5門） 災害見回り（2回）	春はな祭り 稲作教室 かかし祭り	水路浚い フレールモア除草 花壇の植え替え 水路の堀直し



水門の点検



お年寄りによる花壇の植え替え



地域総出の水路浚い



向上活動 水路の堀直し

5 取組の効果及び今後の展望等

これまで実施してきた啓発、地域交流事業により多くの地域の人たちと各種基礎活動が実施できたことにより農地の保全管理が図られてきています。

今後は、それに加え農村地帯が持つ多面的機能に着目し、その機能が維持できるような活動を一足一足ずつ進めたい。

美しい田園風景と魅力ある自然と共生する

農村環境づくり

(組織名) 古谷本郷地区農地・水・環境美化サークル (市町村) 川越市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
39.45ha	2.3ha	3.21km	km	km	箇所	1.3km

2 活動組織の構成員

古谷本郷上自治会、荒川右岸用排水土地改良区、古谷本郷上農家組合第一・第二支部、古谷本郷上育成会、古谷本郷上老人会

3 地域の様子と取組内容

古谷本郷地区は、川越市の東部に位置する水田地帯で、昭和56年から昭和63年頃にかけて土地改良が行われ、近年では開発により非農家との混住化が進んでいます。農家の減少や高齢化が進み、農業関係者だけでは優良な農地の維持や、農村景観及び農村環境の保全が難しくなっています。

地域活動として、基幹的な水路法面にヒメイワダレ草を植栽し除草作業の軽減及び除草剤の使用抑制に結び付けて、美しい景観を維持しています。

また、水田にレンゲ草を植栽し、開花時期には近隣の幼稚園・保育園の園児に開放し、レンゲまつりを開催して、近隣の住民とも交流を図っています。

このような活動を行いながら、農家・非農家の連携体制を整え、既存の活動を推進しながら発展させ、古谷本郷地区の農業と農村が地域住民に、より親しまれ愛されることを目的に、平成20年度から本事業を推進してきました。

4 主な活動内容 (平成25年度)

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農業用施設の点検 (ポンプ・用水路等)	年度活動計画の策定	レンゲまつり
遊休農用地の確認	レンゲまつり PR レンゲまつりの水田開放	水路法面等の草刈り ヒメイワダレ草の植栽
	子供会とゴミ拾い (農用地・農道等)	水路泥上げ 用水路補修



レンゲまつり



保育園・幼稚園に開放



地域住民とのごみ拾い



ヒメイワダレ草植栽



水路補修



水路泥あげ

5 取組の効果及び今後の展望

古谷本郷地域では、農業者が主体となり水田にレンゲ草を植栽し、毎年4月下旬に「レンゲまつり」を開催しております。開花時期には近隣の幼稚園・保育園の園児に開放し、近隣の住民とともにイベントも開催し、地域住民と交流を図っております。

農地・水の活動により、「レンゲまつり」の事業主体が農業者から地域住民全体へと広がり、より地域の身近なまつりとして定着してきました。

また、老人会・子供会と連携して農道等のゴミ拾いを行ったり、地域の伝統行事である「ほろ掛けまつり」を通して地域住民との交流を図るなどの活動の結果、地域の連帯が強化され、農業の多面的機能の重要性も広く認識されてきています。

また、平成23年からは向上活動にも取り組み、地域内の素掘り水路をU字溝に更新してきた結果、水路の管理がしやすくなり、地域の財産としての農地を守ろうという意識も高くなりました。

菜の花の植栽を活かした地域活性化活動

(組織名) 嵐山南部地域資源・環境保全向上活動委員会 (市町村) 嵐山町

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
20.0ha	0.0ha	- km	3.9km	4.8km	0箇所	7.1km



共同活動計画の策定 (総会の様子)



菜の花畑の整地作業

2 活動組織の構成員

鎌形自治会
大蔵自治会
嵐山南部土地改良区

3 地域の様子と取組内容

(1) 地域の様子

当地域は、埼玉県西部を水源とする一級河川都幾川の右岸に位置する嵐山町大字鎌形、大蔵で構成する平坦な田畑の地域であります。県営ほ場整備事業により整備されてから約30年が経過し、各農業施設の老朽化が懸念されています。また、耕作者の高齢化等により、維持管理活動が困難になりつつあったため、平成19年度より農地・水・環境保全向上活動の取り組みを始めました。

(2) 取組内容

農業者の減少並びに高齢化により、維持管理活動が十分に行われなくなってきており、地域の共有財産である農道・水路の清掃活動等には地域住民との連携が不可欠となっています。

農業施設周辺の草刈・排水路の泥上げといった通常の活動と、農業施設の空きスペースに景観植物として菜の花の植栽管理を行い、地域住民に保全活動の必要性を理解してもらい、共同して農村地域の環境保全向上に努めています。

春と秋には地域住民の全員参加を目標に、清掃活動を実施しています。

4 主な活動内容（平成25年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画策定	草刈り、水路の泥上げ 菜の花畑の植栽

当委員会では嵐山南部土地改良区の役員を中心に活動しています。

主な活動として、草刈り、水路の泥上げ、施設の点検・補修、環境向上活動としてゴミ拾いや菜の花の植栽管理に取り組んでいます。

菜の花の植栽場所は、春に開催される嵐山さくらまつりの会場地に近く、来場者の目を楽しませ、嵐山町の観光スポットのひとつとなっております。



観光スポットである菜の花畑



草刈作業

5 取組の効果及び今後の展望等

活動を通じ、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が根付き、遊休農地発生の抑制につながりました。これからも維持管理活動・地区内の遊休農地を把握し、農村地域の環境保全の活動を継続してまいります。

平成25年から、農地・水の活動を通じ適切に維持管理された活動区域に隣接する都幾川堤の桜並木にて、「嵐山さくらまつり」イベントが、町の実行委員会と商工会により開催されるようになりました。

新たなイベントが開かれることで、地区外からも人が訪れるようになりました。

豊かな地域資源を子どもたちへ

(組織名) 大湊区下環境を守る会 (市町村) 皆野町

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
0.65 ha	4.34 ha	— km	— km	0.9 km	— 箇所	2.0 km



(米づくり体験実習)



(農地の草刈り)

2 活動組織の構成員

- 農業者 9人
- 農業者以外 97人
- 主な団体 大湊区下行政区・大湊区下水利組合・大湊区下子ども会

3 地域の様子と取組内容

当地域は、皆野町の中央に位置していますが住民の高齢化や人口の減少により、農地・農業施設の維持管理が難しくなってきました。また、有害鳥獣の被害により豊かな環境も失われつつあります。

そこで、地域住民が一体となり地域の美化活動として年5回のゴミ拾い、それに合わせて農地・農業用施設の草刈り等を実施しています。

また、豊かな地域資源を活用した稲の栽培、サツマイモ栽培を小学校と連携して行い、子どもたちが農業や地域資源の大切さを学び関心を持ってもらうことにより、豊かな地域づくりを目指しています。

4 主な活動内容（平成25年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画策定 小学校と連携した農業体験	施設等の定期的な巡回点検、清掃、草刈り 異常気象後の見回り



（水路の補修・草刈り）



（地域のゴミ拾い）



（田んぼの生き物観察）



（サツマイモの収穫）

5 取組の効果及び今後の展望等

農業者の高齢化や減少に伴い、農地、農業施設の維持管理が難しくなってきたため、農業者を中心に地域住民が活動した結果、農業の大切さを認識してもらっただけでなく、環境保全への意識が高まり農地の草刈り・農業用施設補修を行うことにより、地域資源、維持管理の大切さを感じ、愛着を持つようになりました。また、小学校と連携し農業体験を行っています。田植えや稲刈りだけでなく、種まき、はで掛け、脱穀など一連の作業を体験し、農業の大切さを考える良いきっかけになればと考えています。

未来に育む 花の宮戸地区

(組織名) 宮戸農村環境保全協議会 (市町村) 本庄市

1 地域の資源

水田	畑地	開水路	パイプライン	ため池	農道
10.3ha	33.2ha	6.5km	0km	0箇所	6.9km

2 活動組織の構成員

宮戸自治会、PTA

・構成員 79名 (うち農家62人)

3 地域の様子と取組内容

本地域は、開渠による用水路等の土地改良施設が整備済みの平地農業地域である。土地改良施設の維持管理は、用排水管理組合の農業者や地域住民により行っている。共同活動においては農家を中心に農用地、排水路、用水路の除草、点検を行っており、遊休農地発生の防止にも力を注いでいる。

特色ある活動は、地元PTAと連携して水路沿いに花の植栽を行っており、子供たちを交えて楽しみながら地域の景観形成を行い、農村環境を保全する重要性を地域に浸透させようと活動している。

4 主な活動内容 (平成25年度)

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・水路内の土砂堆積状況確認	・水路内浚渫、花の苗植え等の年度計画の作成	・水路内の浚渫 (泥上げ) ・水路沿いへ花の植栽

5 取組の効果及び今後の展望等

宮戸地区はまとまりがよい地域であったが、本事業を取り入れたことによって、ますますそのまとまりが強固になっている。

水路が土で埋まり、施設の機能が十分に活かせていなかったことが当地区の一番の課題であったが、計画通りに水路の浚渫が進んでいくにつれ、営農意欲の高まりにつながっている。

また、水路沿いへ花の植栽活動を行うことにより、以前から地域で行っていたゴミ拾い活動に対しても、「自分たちが手入れをした水路や花を汚してはいけない。」という気持ちがさらに強くなり、環境を守る活動に相乗効果が生まれている。

非農家も含めたコミュニティがより活発となり、地域のまとまりがますます強くなっている。

未来を担う子供たちを交えた活動が、将来の環境保全の担い手を育み、10年後、20年後の地域と環境作りへの布石となっている。

○水路の浚渫活動



○花の苗植え活動



○ゴミ拾い活動



目地詰めによる水路の適正管理

(組織名) 熊谷市御正堰地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

水田	畑地	用排水路	パイプライン	ため池	農道
227ha	5ha	66.6km	1km	-箇所	54.8km



(目地補修の様子)



(補修後の水路)

2 活動組織の構成員

成沢、三本、上新田、上押切、下押切、樋春北、樋春南、御正新田1、御正新田2、御正新田3各自治会、三本長寿クラブ、上新田長寿会、上新田グランドゴルフ会、上押切長寿会、上押切子供会

3 地域の様子と取組内容

- ・ 活動区域は、熊谷市南部に位置する荒川右岸に沿った細長い地域です。
- ・ 昭和47年から昭和58年に実施された県営ほ場整備事業で整備されている水田地帯です。
- ・ 本地域は農業者人口の割合が多く、人口の転入出はあまり見られません。そのため、地域住民間の連携が強い地域であり共同活動には多くの方が参加します。
- ・ 農業用施設(農用地、水路、道路)の草刈り、水路の堀さらいなどの基礎活動のほか、水路の保全管理として漏水防止のための目地詰め補修作業を行っています。
- ・ 目地詰め補修作業は、業者の研修を経て、平成20年から毎年、非かんがい期の12~1月にかけて行っています。

4 主な活動内容（平成 25 年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検 (4, 7, 10 月)	年度活動計画の作成 (7 月)	施設の草刈り (4~10 月) 水路の適正管理 (4, 7, 9, 12 月)



(草刈り)



(泥あげ)

5 取組の効果及び今後の展望等

地域内の用水路はコンクリート水路で整備されているものの、老朽化により目地からの漏水、本体の亀裂、破損等の障害が起きています。補修作業を強化することにより、漏水がなくなり、転作、裏作の増加が期待できます。今後も安定した農業経営のため、目地詰め補修作業件数の維持を図り、水路の保全管理を行いたいと思います。

共同活動を通じ農地・農業用水路等の資源や農村環境向上の保全に努める

(組織名) 下崎環境保全協議会 (市町村) 加須市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
27.91ha	0.78ha	4.9km	km	km	箇所	3.5km



施設の点検



ヒメイワダレ草の植栽

2 活動組織の構成員

下崎下・仲組自治会、下崎上自治会

道南農家組合、道北農家組合、下組農家組合、中組農家組合

3 地域の様子と取組内容

本地域は、関東平野のほぼ中央部を占める埼玉県東北部に位置し、都心から50km圏内の距離にあり、市街地の周辺に水田地帯が広がっています。

当地区においては、農業従事者の減少による農道・水路等の維持管理活動が困難になりつつあります。この解消のため、当事業を導入し地域共同活動による環境保全を行っています。

特色ある活動としては、農道・水路等の維持管理労務の低減を目的に、ヒメイワダレ草を植栽していることがあげられます。また、農道・水路の維持管理については、地域全体による除草作業・ゴミ拾い活動が行われており、砂利敷きや破損した施設の修復も地域での共同活動によって取り組んでいます。

4 主な活動内容（平成25年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	施設の草刈、泥上げ 水路修繕



水路の草刈り



水路の泥上げ

5 取組の効果及び今後の展望等

地域一体となって、農地・農業用水路等の草刈や泥上げなどの共同活動を行うことにより、非農業者と農業者が身近に接する機会が増えることになり、より農業の大切さを知ってもらうことができます。

また、農地・農道・水路等は、地域環境の重要な資源であるという認識にたち、地域ぐるみでの施設の整備・維持管理箇所を増やし、環境向上のために、ヒメイワダレ草の植栽を推進しています。

今後も、地域住民が一体となり農地・農業用水路等の資源や農村環境向上に取り組んでいく予定です。

「いきいき」としたふるさとの保全

(組織名) いきいきふなと (市町村) 越谷市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
17.9ha	0.7ha	0.7km	km	3.4km	箇所	4.2km

2 活動組織の構成員

船戸自治会、新方領用悪水路土地改良区、船戸土木委員会、船戸子供育成会、JA越谷市女性部、新方消防団ほか
構成人数98人(うち農家92人)

3 地域の様子と取組内容

本地域は越谷市の北東部に位置し、明治43年頃耕地整理が行われた約19haのまとまった農地です。

しかしながら、当該地域は農業後継者が減少するとともに、農地は遊休化傾向にあるため、平成19年度より農地水保管理支払交付金を活用し、地域環境の保全及び地域の活性化を図るべく地域ぐるみの活動を開始しました。

毎年、遊休農地を活用したコスモス鑑賞会や地域の中学校と連携した農業体験学習、さらに伝統芸能の伝承を目的としたしめ縄づくり等を行っています。

なお、昨年9月に越谷市内で発生した竜巻により周辺地域が大きな被害を受けた際、本活動組織は積極的に被災地域の処理活動にあたりました。

4 主な活動内容(平成25年度)

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設及び農用地の点検・機能診断(4月、10月)	・基礎活動及び農村環境保全活動に係る年度計画の策定(4月ほか) ・地域住民との交流活動・学校教育との連携等(コスモス鑑賞会、田植え学習等、5月~12月)	・施設の管理、草刈り(5月~10月) ・景観形成活動(コスモス鑑賞、6月) ・地域の伝統芸能の伝承(しめ縄づくり、12月)



施設点検（ゲート）



地域の草刈り



コスモス鑑賞会



伝統芸能の伝承（しめ縄づくり）



学校教育との連携（稲刈り）

5 取組の効果及び今後の展望等

以上の地域活動をきっかけとして、周辺地域でも関心が高まっているようです。また、当該地域では、新たな担い手育成の検討も行っており、将来、本地区では担い手による大規模な営農の実現が期待できます。